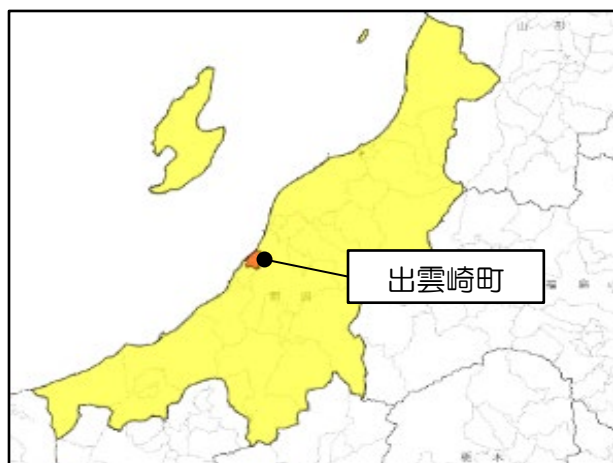


令和7年度地震・津波防災訓練 (新潟県出雲崎町・内閣府)

実施報告書 (概要版)

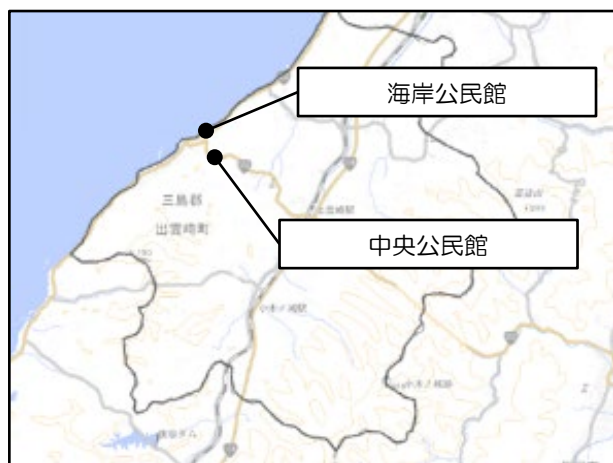
新潟県出雲崎町について

- 新潟県出雲崎町は、新潟県のほぼ中央に位置し、約10kmに及ぶ海岸線を有する。人口は、令和7年3月時点で3,831人である。
- 日本海型気候で、春秋は晴天の日が多く温暖であるが、梅雨期から8月にかけて雨量が増加し、集中豪雨に見舞われることがある。
- 農業と漁業を中心とした第一次産業が長く産業の中心であったが、近年は観光等の第三次産業が増加している。



主な被害想定

- 平成19年7月の中越沖地震での被害に基づき、M6.8、震度6弱を想定している。
- 集落が海岸沿いに集中しているため、地震発生直後に津波が到達し、道路の損壊、津波による指定避難場所等の孤立化が予想される。



訓練概要

- 訓練想定：新潟県佐渡沖でM7.5の地震が発生し、出雲崎町では震度6強を観測し、津波警報が発表される
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和7年10月11日（土）10:00～11:40
【地震・津波防災訓練】令和7年10月19日（日）9:00～10:00
【訓練実施後WS】 令和7年10月19日（日）10:30～12:00
- 主催：出雲崎町、新潟県
- アドバイザー：新潟大学危機管理センター 田村圭子教授
- 参加者数：100～200名
- 参加機関：行政区長、海上保安庁、防災士会
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、津波フラッグ設置訓練、アプリと電話を活用した安否確認訓練、ヘリコプターによる要救助者吊り上げ訓練、避難所設置・運営訓練、炊き出し訓練
- 訓練の特色：新潟県の総合防災訓練と同日に、出雲崎町では津波からの住民避難訓練を中心に訓練を実施した。
新潟県が開発中のアプリを活用し、指定緊急避難場所(29箇所)への一次避難完了後、区長がアプリと電話で安否確認を実施した。
一次避難完了と併せて、第九管区海上保安本部による沿岸部でのヘリコプター吊り上げ救助訓練を実施した。

訓練の成果

【成果】

- あまり天候が良くなかったにも関わらず、訓練は概ね予定どおり実施され、多くの地域住民の参加を得ることができた。
- 防災士会が訓練前ワークショップから参加したことで、住民と防災士との連携の場となった。
- 出雲崎町の津波避難計画(案)を住民へ説明する機会となるとともに、ワークショップや訓練で住民自ら避難経路の確認をし、津波避難計画に住民の意見を反映する機会となった。

【課題】

- 大きな課題はなかったものの、今回の訓練により明らかになった下記の点については津波避難計画案へ反映することとしている。
 - ・ 一時避難場所から避難所へ向かう際の経路の検討
 - ・ 浸水域となる可能性がある箇所の避難経路の見直し

10月11日(土) 10:00～11:40 訓練実施前ワークショップ

- 出雲崎町が作成した津波避難計画（案）の説明後、避難経路に関するグループワークを実施した。
- 各参加者が家からの避難経路を確認した結果、一時避難場所まではたどり着けるが、その後の避難所への移動が必要となった場合、1時間程度の遠回りをするか山道を通らなければならない、困難であるといった意見が挙がった。

▼田村アドバイザーによる講演



▼グループワーク



10月19日(日) 9:00～10:00 地震・津波防災訓練

- 防災無線で地震発生を伝達後、住民が避難を開始した。
- 指定緊急避難場所への一時避難後、区長等がアプリと電話で安否確認を実施した。
- 沿岸部で、ヘリコプターによる吊り上げ救助訓練を実施した。
- 避難所設置・運営訓練と合わせて、キッチンカーによる炊き出し訓練を実施した。

▼住民同士での声の掛け合い



▼住民避難



▼アプリでの避難場所・安否確認報告



▼沿岸部に接近し、救助を行う



▼キッチンカー炊き出し訓練



10月19日(日) 10:30～12:00 訓練実施後ワークショップ

- 避難行動・経路に関する振り返りを実施した。
- 今回の訓練ワークショップに参加していない住民にも、今回の話し合いやワークショップの内容を周知し、共有することが大事であるとの意見が挙がった。

▼グループワーク

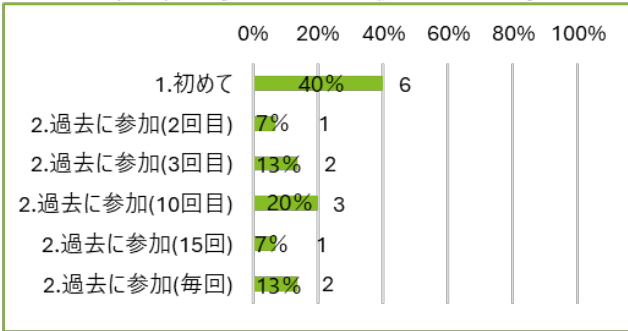


▼振り返り会議

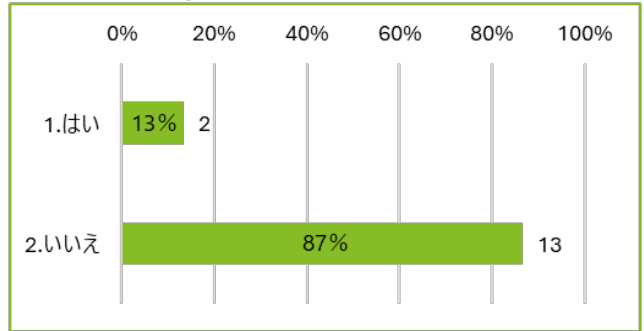


アンケート結果

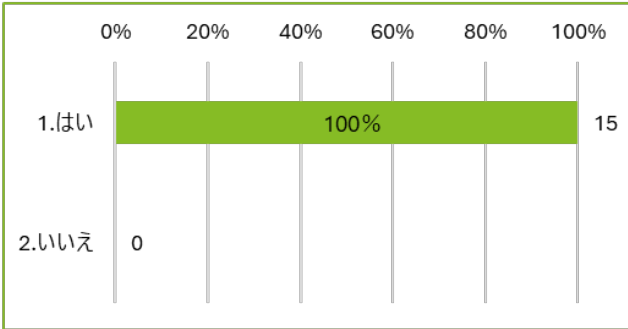
1. 防災訓練やワークショップのような地域防災に関する取り組み参加したのは初めてですか。



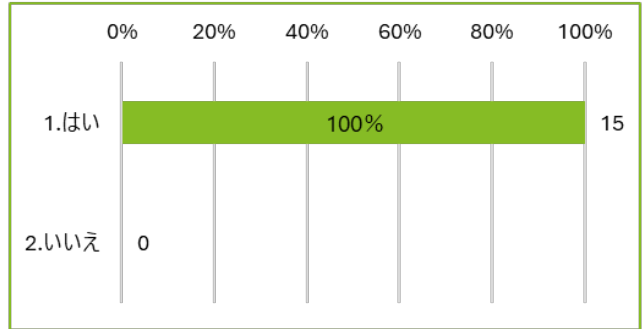
2. 11月5日が「津波防災の日」であることを知っていましたか。



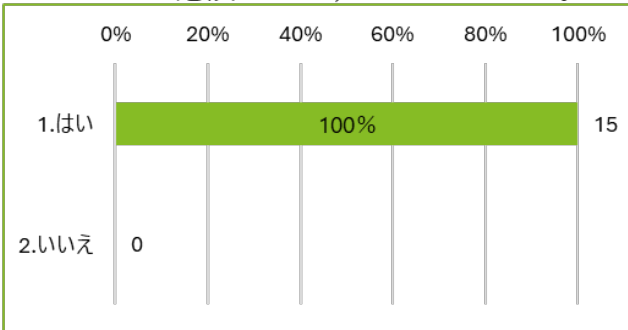
3. 今回のワークショップに参加し、災害に対する自らの備えの課題や改善方法が分かりましたか。



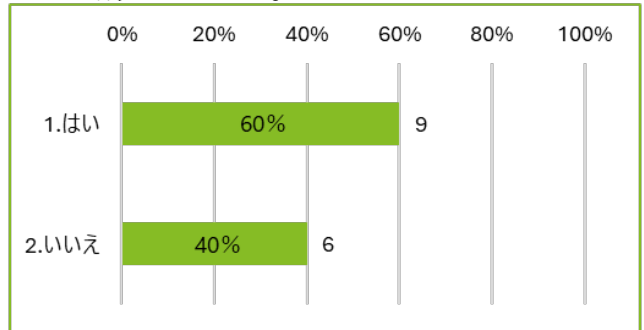
4. 出雲崎町が作成している「津波ハザードマップ」を見たことはありますか。



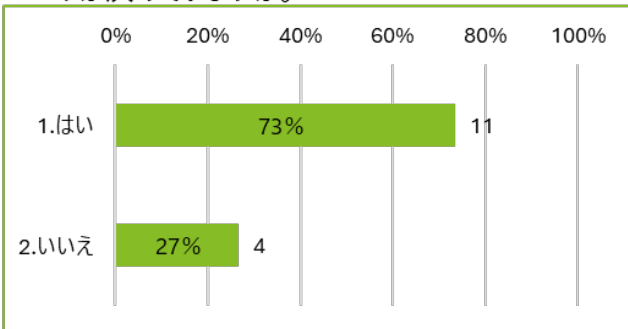
5. 災害のリスク（災害時、お住まいの地域のどこに、どのような危険があるか）を知っていますか。



6. 自宅や職場から避難所への避難経路に危険な場所はありますか。



7. 災害時に家族同士で、どのように連絡を取り合うか決めてありますか。



8. 今地震発生時にいた場所から避難先までおよそ何分かかりましたか。

